

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日: 令和 5年 1月 21日

公表: 令和 5年 3月 31日

事業所名 放課後等デイサービスくるみ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		子どもたちがのびのびと活動できるスペースを確保している	
	2	職員の配置数は適切である	○		基準を満たし子どもとマンツーマン以上の体制をとっている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		車椅子で利用しやすくなっている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		スタッフミーティングを行い、運営会議に主任スタッフが参加している	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		「わからない」等の項目については面談等で説明をする機会をもっている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		法人として第三者評価を取り入れておらず、今後導入を検討していく。(新年度にむけて)
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		年間計画にそって実施している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフだけでなく子どもたちの意見や希望も取り入れている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節の行事、子どもたちのブームを取り入れている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		宿題タイムや外での活動等を休日長期休暇に取り入れている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		集団での活動をベースに個人での楽しみも保障している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		前日に翌日の利用予定、送迎、活動内容等を全スタッフに周知している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		記録をしながら話をする時間をとっている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日、記録のための時間をとり、翌日以降につなげている	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		月ごとにモニタリングを行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		リハビリ、集団、社会活動等を取り入れている	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者(児童発達支援管理責任者)が出席できるようにしている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者に方を通して、学校の行事予定等の情報を収集し対応している	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		保護者に方を通して、主治医の指示を受けている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		小学1年生からの利用に方がみえるときには情報提供を受けられるように努める。近隣の児童発達支援事業所との交流を図るようにしていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		法人内の生活介護来夢を利用する場合は直接利用者、事業所双方へ支援している。法人外の事業所の場合は保護者の方を通して行っている	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		豊明市の児童発達支援センターとの連携を図っていく(コロナ等の状況が変化し交流をできるようになっていくため)
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナ等の状況が変化し、交流をできるように機会を検討していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		法人としても事業所としても積極的に参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡ノートで家庭やくろみでの様子や言動を伝えあい共有している	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		保護者の方と相談を受けたりお話をしたりはしているが「ペアレント・トレーニング」という形は取り入れていない
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用開始前の契約時に面談を行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			行っているが、積極的に子育ての悩みごと等を話ができる機会、場所をつくっていく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者会、支援者の会(ひまわりの会)を開催し連携を支援している	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時、面談時に苦情窓口について保護者の方へ説明している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		くろみの会として会報を発行している	

	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		日常の様子から年間の連絡事項等お手紙にして伝えている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ等の状況が変化し、交流をできるように機会を検討していく
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		スタッフには研修で、保護者の方には面談時等で周知している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		災害対策計画にそって実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止委員会により実施している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		車椅子、保持イス、カーシート等のベルト着用以外は身体拘束を行っていない(保護者に説明し書面にて同意を得ている)	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者を通して「食事形態アンケート」の情報に対応している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		ヒヤリハット事例集を作成し共有していく